

授業コード	ナンバリング	開講時期	単位
1315	LW2P310	2024年度前期	2単位
科目名	生活支援技術Ⅲ		
担当教員	武田 千幸、森田 婦美子		
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目		
学修内容	居宅における介護技術について理解する 要介護者の状況に応じた支援を考え、実践能力を養う 終末期の介護について理解する		
学修成果・到達目標	I C F の視点にもとづいたアセスメントができる 障害に応じた介護の方法について根拠が説明できる 終末期の介護について概要を説明できる アセスメントに基づいた支援が展開できる		
授業計画		事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
第1回	生活支援技術Ⅰ・Ⅱで学んだ技術のふりかえり	生活支援技術Ⅰ・Ⅱで学んだ内容をふりかえる(1時間)	授業内容を復習する(1時間)
第2回	ボディメカニクス	ボディメカニクスの原則及び意義についてまとめ、自分自身の身体を守るためにどのようにボディメカニクスを活用していくかを考える(1時間)	授業内容を復習する(1時間)
第3回	環境整備(ベッドメイキング・シーツ交換)	演習目標の立案およびベッドメイキングの練習を行う(1時間)	授業内容の復習を行う(1時間)
第4回	利用者が臥床している状態でのシーツ交換	テキスト該当部分を読み、体位変換の介助について復習しておく(0.5時間)	演習記録の記入および授業内容の復習を行い、練習する(1.5時間)
第5回	送迎の介助	福祉施設での利用者の送迎について調べ、演習目標を立案する(1時間)	授業内容を復習する(1時間)
第6回	福祉車両乗降の介助(ゲストスピーカー)	福祉車両について調べる(1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)
第7回	一般車両乗降の介助	車に乗降する際の介助について調べ、演習目標を立案する(1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)
第8回	移乗介助(移動用リフト・スライディングボードの活用)	テキスト該当部分を読み演習目標を立案する(0.5時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する(1.5時間)
第9回	睡眠の意義と目的	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)	授業内容を復習する(1時間)
第10回	安楽な姿勢の保持	テキスト該当部分を読む(1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)

第11回	洗髪介助の方法	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1時間）	授業内容を復習する（1時間）
第12回	ベッド上での洗髪介助	洗髪の介助をふりかえる（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第13回	障害に応じた介護技術①（視覚障害）	視覚障害について調べ、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第14回	障害に応じた介護技術②（聴覚・言語障害）	聴覚・言語障害について調べ、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第15回	障害に応じた介護技術③（肢体不自由）	肢体不自由について調べ、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第16回	障害に応じた介護技術④（内部障害）	内部障害について調べ、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第17回	終末期ケアの意義と介護の役割	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第18回	危篤時の介護	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第19回	終末期の介護（エンゼルケア・グリーフケア）	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第20回	施設における終末期の介護（ゲストスピーカー）	施設での終末期介護について調べる（1時間）	授業内容をふりかえり、レポートをまとめる（1時間）
第21回	障害に応じた介護技術⑤（知的障害・発達障害）	知的障害・発達障害について調べ、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第22回	障害に応じた介護技術⑥（難病）	難病について調べ、演習目標を立案する（1時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1時間）
第23回	介護技術の展開（施設での介護事例）	介護実習での支援をふりかえり、演習目標を立案する（1時間）	授業内容を復習する（1時間）
第24回	実技練習（施設での介護事例）	実技練習を行う（1時間）	演習記録の記入および実技をふりかえる（1時間）
第25回	介護技術の展開（居宅介護事例）	居宅介護の事例を調べ、演習目標を立案する（1時間）	授業内容を復習する（1時間）

第26回	実技練習（居宅介護事例）	実技練習を行う（1時間）	演習記録の記入および実技をふりかえる（1時間）	
第27回	施設での介護事例・居宅介護事例ふりかえり	事例をふりかえる（1時間）	実技をふりかえる（1時間）	
第28回	実技習得レベルの確認（施設での介護事例）	居宅介護事例について実技練習を行う（1.5時間）	実技をふりかえる（0.5時間）	
第29回	実技習得レベルの確認（居宅介護事例）	施設での介護事例について実技練習を行う（1.5時間）	実技をふりかえる（0.5時間）	
第30回	実技習得レベルの確認のふりかえりとまとめ	実技習得レベルの確認の内容および今まで学んだ内容をふりかえる（1時間）	授業内容をふりかえる（1時間）	
定期試験内容・方法について		筆記試験		
教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
（最新介護福祉士養成講座6）生活支援技術Ⅰ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	
（最新介護福祉士養成講座7）生活支援技術Ⅱ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883969	
参考書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
（最新介護福祉士養成講座8）生活支援技術Ⅲ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883976	
（最新介護福祉士養成講座11）こころとからだのしくみ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	
成績評価方法・基準				
評価方法	評価割合		評価基準	
定期試験	40%		授業内容を理解しているか評価する	
技術習得度（実技チェック）	40%		技術が習得できているか評価する	
授業毎の演習記録	10%		授業内容を記録し、学びが適切に記録できているかを評価する	
授業態度	10%		意欲的に技術を習得しようとしているか、積極性や参加態度から評価する	
備 考				
フィードバック	授業後に記入した演習記録について、翌週の授業日に添削して返却する 実技チェックの振り返りを個々に行う			
実務経験のある教員による授業科目	実務家教員である			
授業内容（実務家教員）	介護福祉士として、介護老人福祉施設で実務経験のある教員が実技指導を行う			